

〈関西支部〉

平成29年度 関西支部大会 〈オープンカラーラボと研究発表会〉一般参加者(聴講・見学) 募集
(関西支部第2回西日本活性化事業)

関西支部長 吉村 耕治

関西支部では、2018年3月3日(土)に平成29年度関西支部大会〈オープンカラーラボと研究発表会〉を開催いたします。従来の研究発表会(発表7件)に加え、大学・企業の研究室や研究者のご参加(12者)と、機器・ソフト・資材のメーカー様のご参加(4社)という、当初の計画を上回る規模を得てオープンカラーラボを開催いたします。これらの企画は、多様な色彩研究領域の交流と学びの場を提供すると同時に、関西支部が実施する第2回西日本活性化事業として行います。現会員、及び将来の会員を対象にした有意義な企画になるものと考えています。同時に発表・展示等の参加各位の情報を「カラーラボカタログ」集として発行いたします。データ配布ですが、一般の参加者にも提供いたします。

多くのご参加を期待しています。

日 時：2018年(平成30)年3月3日(土) 10:00～18:30(受付:9:30から)
会 場：大阪電気通信大学 駅前キャンパス(京阪本線寝屋川市駅下車3分)

関西支部大会プログラム

●オープンカラーラボ 見学勉強会(10:00～10:45)

各ブースの展示やデモを自由に見学していただけます。研究室等の紹介や機器・資材等の指導も受けられます。

●研究発表会(10:45～13:45 途中昼食休憩があります)－研究発表はそれぞれ持ち時間15分(質疑2～3分を含む)－

◆10:45～11:15 第1セッション(色光と色材)

①RGBDカメラと波長可変照明を用いた3次元情報と分光情報の同時取得－分光情報と3次元情報との統合－
西田法史, 土居元紀(大阪電気通信大学大学院工学研究科電子通信工学専攻)

②パワーチップLEDを用いた多色光源の自作と応用例 中川 貴(元福岡工業大学)

◆11:15～11:45 第2セッション(錯視と色覚)

③系統色名カテゴリによる2色覚基点の配色法 須長正治, 桂 重仁(九州大学大学院芸術工学研究院)

④新しい動く錯視図形の提案 藤原功基(大阪産業大学デザイン工学部建築・環境デザイン学科), 松田博子(カラーコンサルタントスタジオ), 北岡明佳(立命館大学)－ポスター発表－

－ 昼食休憩(11:45～13:00) －

◆13:00～13:45 第3セッション(色彩教育と色彩文化)

⑤ビジネスと幼児教育における色彩の関連性とその役割 桑野優子(日本カラープランニング協会, 日本こども色彩協会), 斎藤美雪(日本こども色彩協会)

⑥20世紀後半のポピュラー音楽アーティストが色彩語を使う頻度の研究(1)－アルバム発表年で見られる色彩語の推移－ 森田智比呂(色彩講師・ロック研究家)

⑦日本の昔話に登場する鬼の色－文化としての鬼の象徴性－ 吉村耕治(吉村色彩文化研究所・関西外国語大学短期大学部名誉教授・関西大学非常勤講師)

●オープンカラーラボ プレゼンテーション：研究室・研究者(12者)及び機器・資材メーカー(4社)

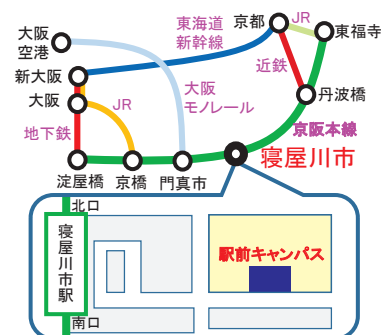
(14:00～18:30 途中に休憩を兼ねた各ブースへの訪問時間30分が2回程度あります)

プレゼンテーションは原則、次ページのエントリーリスト順で、それぞれ持ち時間10分程度で行います。(次ページをご覧ください。)

参加費：会員3,000円、学生・院生1,000円、非会員4,000円

*上記の金額を、研究発表者、オープンカラーラボプレゼンター、聴講・見学参加者など、皆様から申し受けます。

*ただし、企業参加枠で有料参加されています各社(4社)様には1名に限り参加費は無料です。



■オープンカラーラボ エントリーリスト

下記掲載のそれぞれの研究室・研究者、企業参加各位から、プレゼンテーションをはじめ、ポスター掲示や展示・デモ・指導を実施していただきます。

参加研究室・研究者 (50音順・敬称略)	プレゼン・展示・デモ等の内容
石田泰一郎研究室 (京都大学)	人と視環境の関わりを科学的に探求することが研究室の主題。建築空間の光と色、視覚情報に対する視知覚や認知特性を理解し、それに基づいた視環境の評価・設計に関する実証的な研究を進めています。
市場丈規 (Color Lab. for full Life)	色や光は観て、触れて、体感することなしに理解することも、魅せられることもないとの考えで、独自の色彩教材開発・講座を展開しています。今回は身近な色彩現象やゲート「色彩論」を中心にプレゼン・デモを行います。装置展示も行います。
大阪電気通信大学情報学研究所 (土居元紀, 来海 暁, 西 省吾)	情報学研究所視覚情報学研究系の研究について、分光撮像などの画像センシングおよび物体モデリングや画像生成を中心に、色彩に関連する取り組みを紹介します。展示及びデモも行います。
川崎医療福祉大学医療技術学部 感覚矯正学科視能矯正専攻 (河本健一郎)	眼科学と色彩学の融合を1つの目標としています。色覚検査、遮光眼鏡・サングラス装着時の色覚特性評価など。当日は、展示と簡単なデモを行う予定です。
北岡明佳研究室 (立命館大学)	加算の色変換・乗算の色変換・二色法変換とそれらの逆変換のデモをします。
齋藤美穂研究室 (早稲田大学)	色彩との調和関係に着目した cross-modal 研究の紹介。色彩と音楽、色彩と香りの調和関係に関する研究成果について実際の香りや音楽と合わせて展示します。
篠田博之研究室 (立命館大学)	心理物理学による人間視覚系の情報処理機構の解明と色彩工学への応用、とくに「空間の明るさ感」、「白内障シミュレーション」、「色覚シミュレーション」、「デジタルカメラによる色彩分布計測」などのデモを行います。
須長正治研究室 (九州大学)	色覚特性の色彩デザインへの応用：2色覚の特性からカラーユニバーサルデザイン手法のあり方について取り組んでいます。パネル展示及びデモを行います。
富田圭子研究室 (近畿大学)	喫食者の視覚的おいしさに及ぼす食空間における色彩心理研究：食欲・癒し・会話・購買意欲などを促進・向上させる色のメカニズムを調査・分析することで、喫食者の TPO に合わせたおいしく楽しい食の演出に貢献したいと考えています。
日本電信電話株式会社コミュニケーション科学基礎研究所 (土田 勝)	高精細マルチバンド画像の文化財デジタルアーカイブへの適用事例を紹介します。当日は、iPad 上で倍率や注目領域を変更してのインタラクティブな閲覧や、画像認識/探索技術と組み合わせたデモを行う予定です。展示もあります。
山下明美研究室 (岡山県立大学)	デザイナーの卵たちが学ぶデザイン教育の場において、色彩も重要な役割を担っています。座学と基礎演習から、実践的な応用演習までを繋ぐカラーデザイン教育について、課題と作品例を通して考察します。作品展示を行います。
吉村色彩文化研究所 (吉村耕治)	日本文化を中核にしなが色彩を通して、現代社会の多様な文化を探る試みを進めています。特に、AIC (国際色彩学会) の The Language of Colour 研究会の活動に協力し、色を表す言葉の国際比較を推進しています。
参加企業 (50音順・敬称略)	展示・指導・プレゼンいただく内容
コニカミノルタジャパン株式会社	コニカミノルタは長年培ってきた測光技術と品質管理体制のもとで開発・生産された各種計測機器を展示いたします。あらゆるモノの光学特性を計測し、物体色・光源色を問わず最適な方法を提案いたします。
株式会社トプコンテクノハウス	「光」の持つ無限の可能性を追求し、自動車、FPD、照明等の業界向けの分光放射計、色彩輝度計、照度計などの光計測器を提供しています。140万ポイントの分光スペクトルを一度に計測可能な計測器の展示をいたします。
日本色研事業株式会社	色彩総合メーカーとして今回は、高い精度を要求される色彩識別能力をテスト・トレーニングするための弁別検査器 100huestest < ND-100 > 100色相配列検査器をはじめ、色見本 (カラーチャート) からデジタル教材まで幅広い製品及び色彩資料を展示いたします。
有限会社ハイランド	「身近な都市環境と製品の明るさを測る計測機器」と題し、現場で利用されている環境輝度計測の各社協業の実例をご紹介させて頂くと共に、顧客の課題から開発された各種計測機器を展示します。皆様の課題やテーマ、差別化の新たなヒントや発想に繋がれば幸いです。

申 込：件名を「関西支部大会参加」とし、氏名・所属・連絡先・e-mail・会員/非会員を明記の上、下記までお申し込みください。支部大会全体の参加人数等を把握いたしたく、研究発表者・プレゼンテーション関係者も参加申込をe-mailにてお願いいたします。-当日受付の参加も可能ですが、2月末日までにお申し込みください。- 日本色彩学会関西支部 (辻埜) e-mail: tsujino@gold.ocn.ne.jp Tel. 06-6231-4071